原爆反對署名を拡げよう

決起させた久保山さんの死

久保山愛吉さんは、八千万の日本國民と、全世界の平和を愛する人々が見守るうちに、永眠した。この報が全國に伝るや、町や村から、工場から哀悼の意が故久保山さんの所へ届けられ、久保山さんを殺した者に對する憎しみは燃え、国民は原水爆兵器の使用と實驗に反對する決意を一層固めた。以下最近の平和運動の實況をさぐつてみよう。

全市民の署名を

大牟田平和懇談會

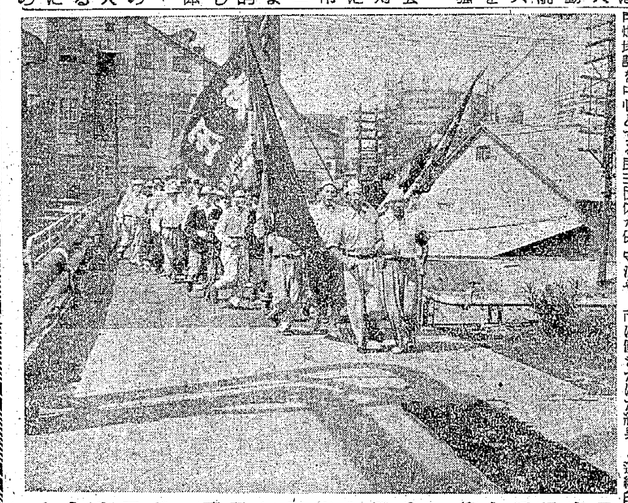
十月一日労組、民主団体で組織する平和懇談会が開催された。この日ソ聯のタス通信がある程の原子兵器の実験が成功したと報道したとAP電が伝えて、遠日本に放射能が発見されたことなどから米、ソに強く抗議する等の意見も出た。

久保山さんの死でさらに奮起した各団体の代表は熱心に討論した結果、大要次のようなことを決めた

一、原水爆兵器の使用と実験反対の署名運動を、市民の間にもつと広がるようにする。そのために、市中からの労組の運動者は居住地のPTA、公民館、婦人会、青年団等の中から署名運動を起す。また社宅においては前記各団体の他労組の組織等と共同して、署名運動実行委員会をつくり運動を強化することを強く希望する。

二、九月二十九日に大牟田市議会が第二回目の、原水爆兵器反対の決議をしたので、決議だけに完らせないために「署名運動市議員団」を組織してもらい、一人でも多くの市議が参加するよう、革新クラブ議員団や進歩的市議に努力してもらう。こうして大牟田市が予算を組んで全体の運動になるようにする。

三、労組（大地評）がこの運動の表面に出ていると、保守的な人などがついて来ないので、なるべく議員団や宗教団体が中心になつてもらうようにする。その



ため、宗教団体（キリスト教、大牟田仏教会）に働きかける。

四、原水爆を保有している五大国米、ソ、英、仏、カナダ等に、原水爆兵器使用と実験反対の要請を行う。文の大要は左の通り

「久保山さんの死で騒ぐのは、共産党にセン動されているのだと云つた。アメリカ両院原子力

戸畑、市の資金で署名運動

戸畑地評を中心とする民主団体が保守派や市に働きかけた結果

分科委員長ピンシャウ氏に抗議する。ソ聯のタス通信が、ある程の原子実験に成功したと発表（AP電）し遠日本の放射能の発見と相まつて、米、ソの原子力の谷間にある日本は幸福と平和のために両国はもちろん五大国に原水爆の禁止を強く要請する」

最近市が八万円ほどの予算を組んで署名運動の資金に支出した。これに勢いずき、全市民の署名獲得を目指して運動を展開している。

〝おつどんば先頭にやれ〟

（東圧）

社長へ　職場から抗議電

「会社ムチヤクチヤ、わがとんばつかり儲けていつちよん出さんの、横暴か」

「そん上、高給もろとる奴とんに貢献度ち言うて、余計やろでつしよる、税込配分な絶対とらんとくせになる」

というのが職場の気持。

社員組合の組合員も「今度はストライキやつてでん取らんと出けんばい」と言つている。

連続的に開かれる決起大会には全員が参加、組合員の士気ますます強んで、決起大会の場所で解散したら「職場までデモ組んで帰らんかい」と批判された。

そろわなかつた労働歌も、一日一日とうまくなつて来た。

横須でも大浦でも「デモのとき同じ所はつかり先頭に立てんで　たまにや俺つどんも先頭にやらんか」と文句が飛び出す始末。

職場からは常会の決議で、連日社長への抗議電、中闘への激励電を打つている。

さらに支部からは中闘を激励し、中央の情況を連絡させるために、大浦と横須から各一名づつ連絡員を派遣した。

還付金の獲得など

第一回県地協幹事会で決定

九月二十八日に結成大会を完えた「福岡県地区労働組合運絡協議会」（略称、県地協）は第一回の幹事会を十月五日開催。当面の闘争目標について次のことを決定した

一、還付金闘争の件

われわれは所得の百分の十八を住民税として源泉徴収されているが、税法の改正によつて、このうち百分の五を県税として残り十三を市税としてとられている（従来は百分の十八全部が市税）この事実に鑑み、還付金は県、市からとるこゝを決めた。県には与党西派（社会その他）に申入れる

市の方は地協が中心となつて十月中旬から下旬にかけて、市長と強力な交渉を行い、必要に応じて大衆動員その他も展開する

二、新聞料金値下げ、ベツト増加運動、県民防衛闘争等を各地協の力の許す範囲で積極的な運動を起すことを決めた。

前段斗争の火蓋切る

三鉱・港務支部八百人のデモ

九月十八日港務支部の職場分会で苦情を集約すべく職場常会開催運絡のため組合員が巡回をやつたところ、人事係員の水口氏がその組合員にたいし「勤務時間中に組合活動をした時間は賃金歩引の対象にする」という職制の放言が三池港務所で発生

三鉱労組港務支部では問題を重視して大きく取上げ職制の圧迫、不当労働行為の現われとしてこれに対決、前段闘争のトツプを切つて六日午後組合員、炭婦協を動員、約八百名が事務所の内外で気勢を上げた。

事の起り

「勤務時間中に組合活動をした時間は賃金歩引の対象にする」という職制の放言が三池港務所で発生

三鉱労組港務支部では問題を重視して大きく取上げ職制の圧迫、不当労働行為の現われとしてこれに対決、前段闘争のトツプを切つて六日午後組合員、炭婦協を動員、約八百名が事務所の内外で気勢を上げた。

放言、綜合では直ちにこの問題を取上げ、不当な人事管理にたいし断固闘う決議をなし執行部に一任した。四日執行部は稲崎支部長等組合代表と渡辺人事課長、伊藤課長代理門司人事係長等と本館会議室で交渉を行ない

1、職場を不明朗にする職制の転出。

2、会社の不当人事管理の責任追及。

をするとく追及したがラチがあかず、遂に六日午後一時すぎから組合員、炭婦協八百名の大衆動員を応分散し、交渉は七日午前二時すぎまで続いたが何ら結論を見ずして散会した。

執行部は直ちに職組と話合い、職組もこの問題を委員会にかけたが執行部の意志とおりに決定、ついに会社も執行部の申入れを聞かざるを得ない事態となつた。この間三日執行部の不眠不休との闘係があるので職組の態度をめぐつて職場内に幾つかの意見があつたが、執行部は直ちに職組と話合い、職場の気持。

「そん上、高給もろとる奴とんに貢献度ち言うて、余計やろでつしよる、税込配分な絶対とらんとくせになる」

というのが職場の気持。

社員組合の組合員も「今度はストライキやつてでん取らんと出けんばい」と言つている。

「会社ムチヤクチヤ、わがとんばつかり儲けていつちよん出さんの、横暴か」

「そん上、高給もろとる奴とんに貢献度ち言うて、余計やろでつしよる、税込配分な絶対とらんとくせになる」

というのが職場の気持。

社員組合の組合員も「今度はストライキやつてでん取らんと出けんばい」と言つている。

連続的に開かれる決起大会には全員が参加、組合員の士気ますます強んで、決起大会の場所で解散したら「職場までデモ組んで帰らんかい」と批判された。

そろわなかつた労働歌も、一日一日とうまくなつて来た。

横須でも大浦でも「デモのとき同じ所はつかり先頭に立てんで　たまにや俺つどんも先頭にやらんか」と文句が飛び出す始末。

職場からは常会の決議で、連日社長への抗議電、中闘への激励電を打つている。

さらに支部からは中闘を激励し、中央の情況を連絡させるために、大浦と横須から各一名づつ連絡員を派遣した。

三川鉱で落盤事故

死亡二名、重軽傷七名

十一日午前七時四十五分ごろ三川鉱上層西四百米坑道の、ベルト卸場で、死亡者は同鉱採炭水上守善さん（42）緑ケ丘社宅通町八六棟）同稲富つた後で魂柱引であり、この日午前七時四十五分ごろ突然山鳴りが起きてナンバー一から三までの側壁が吹出して八十尺にわたり落盤

三川分院に二名が直ちに入院した。

水上さんは全身打撲、稲富さんは後頭部骨折により尊い生命をヤマに捧げられた。殊に稲富さんは兄弟三人が同鉱採炭に働いておられる山の一家であつた。

落盤後水上さんは直ちに掘出されたが、稲富さんの救出には非常に作業は困難をきわめ、同所にいち早くかけつけた十七名の同僚たちの必死の掘出し作業により、正午すぎの十二時三十分ごろ漸く掘出された。

三川支部ではこの変災にたいして次のように語つている。

組合は会社にたいして以前から生産会議をもつように申入れていたが、会社の方が誠意を示さずに会議をもつて呉れないので切羽がわからなかつた。組合としては会社にたいして生産会議の要望をしてあるのに指示がないのでこのような変災に対策がない、会社に対して生産会議をもつように早急に推し進めたい

北京だより

三池炭鉱労働組合組合長　宮川睦男

前略、その后皆様は元気に前度闘争に御奮闘のこと、存じます。アジア、ヨーロツパ大陸を十日間で一廻りして、三十日北京に着きました。

第五回中国大陸節に参列し、開放后における新中国の姿を見ました。私達が日本にいて想像したり話で聞いたとは全く違い新中国に希望を持つた若い人々の姿は実に発ちつとしています五十万以上の大デモンストレーションが三時間にわたつて行われました。総工会（労働組合）では参加者を制限するのに一苦労したようです。

たゞ共産党の命令によつて仕方なしに参加しているとは全く考える必要がないと痛感いたしました。皆自ら喜んで参加しその一人々々の顔がほころびている様を見ました。鈴木委員長を中心とする国会議員団も婦人代表も留参列しました。そして一同この新僑飯店（ホテル）に泊つています。

炭婦協の北会長とも毎日会つて話をして居ります。今日は日曜日で北京の市は大変な人出です。午前九時に中国のお百姓さんが町にいろ〜と買りに来て馬や車を預けて泊つて行くところを見せてもらいました。つまり百姓さんのサービス機関として仲々繁昌しています。こゝの名前を「服務所」といいます。帰つてから詳しく報告いたします

明日より十八日頃まで旧満州（東北地方）や上海、南京方面の工場、鉱山や福利施設を見る予定です。そして二十日頃にはモスコーに行き十一月八日頃までソ連に滞在し　それから独、仏、伊等を廻り十一月末には帰国したいと思つています。大変忙しいときに長く留守をいたしますが皆様も健康に注意されますよう御奮闘の程をお祈り致します。近いうちにまたお便りします。

十月三日　北京新僑飯店にて

菊川副組合長殿　宮川睦男

消えぬ高利の悲劇

組合員の殆んどが借金苦

—三鑛職組のKさん—

—東歴のAさん—

年令四十才。家族四人。借金の原因は兄が病気し　会社に勤めていないため保険が利用できず、Aさんが病気治療のため今年の二月、二万円借りた。それが八月現在で、五万円になつている。

借金を申込んでくる人は、平均二万円位がおもであり、ほとんどの人が高利金融のかた替り、借金返済という理由をつけているが、なかには五万—十万円という多額の借金を背負いこんでいる人もありこれらの一部には、私生活のユルミ（パチンコや飲酒）から借金が積み重なつた人もいるが、ほとんどは生活苦からである。この外に組合としては、一人五千円のワクの内で貸付けを行つているが、この金額も八月末現在では一六五万円（貸付人員二千二百名）になつており、労金と合すれば四六二万となり、貸付人員も延二、四六七名となる。

闘争について

組合員は何を望むか

—三鑛職組のKさん—

三十八才で六人家族である。病弱の夫をもつ妹が離婚をはじめるときに高利貸しから五万円借りたのことは、新聞は高くなつても聞聞すると云う新聞の強味を利用した、金儲けの悪質な手段だと考える。

聞聞の指令や、紙代の不払い運動は、この不満が爆発したものである。今や社宅などでは、二軒に一新聞の共同聞聞運動も起つている。報道を正しく絵この人に知らせる使命を想起し、料金を八月以前に引下げよ。右声明する。

昭和二十九年十月六日

大牟田地方労働組合評議会
三池炭鉱主婦協議会
大牟田市小企業労組連合会

金属労働者

地味だが幅のある闘争を續けて來た

共同デスク　組合めぐり　第七回　三煉労組

五月櫃でベスを降り、大牟田名物「アクスイ川」を上ること約八分、記者は熱料と東圧、製作所に囲まれた三井金属鉱業三池製煉所労働組合を訪れた。

秋季闘争を前に、九月下旬総改選を終つたばかりの労組事務局には、組合長太田千秋氏始め六名の執行部が、それ〴〵仕事

十五年四月、三井鉱山から分離して神岡鉱業株式会社として独立、その后二十七年三井金属鉱業株式会社に名称をかえた。亜鉛生産を主なる仕事としてその他金山開発と銅製煉所など全国七ケ所に事業所をもつています

我々の組合は二十一年一月結成され、その后二十二年二月全日本の金属鉱山と製煉労働者が七万五千結集して、全日本金属鉱山という産業別組合をつくると共に、二十二年七月には職従一本の企業型三井金属鉱業労働組合運合会をつくり今日に至つています。戦后石炭部門の人達が補給金暮しをしているとき　私達はこれをうらやみながら、何とか石炭なみの生活をしたい、と随分苦心をしたもんです。ち

ようど石炭部門と別れた前頃が我々の不況のどん底でして、曽切り整備と闘い、どうやら未然にこれを防ぐことができ、職従一体となつて社内の再建に努力してきました。当時の組合幹部のうちには部課長の地位になつている人も数多く、中には取締役に選んでいる人もある。それだけに労使相互の気持というものは、いわゆる話せる面もあるが、他から見れば御用組合のようにも見えるところがあるかも知れない。しかし我々としては石炭と別れた当初、今后いかにして新会社の基礎を固めて行くか、ということについて全く労使一体となつた努力が要請されていたのであつた。従つてある程度労使の休戦状態も止むを得なかつた次第です。それにしても地味ではあつても、シンのある闘いはやつてきたつもりですしかし、すでに会社も発足当時の不安定状態から脱し、神岡の発電所、三池の竪型製錬工場など大部分工事も完成し、基礎もかたまつたので、これから我々は、我々の要求を堂々と打出せるようになつた。今后三煉労組は組合運動の本街道にけち帰り弱く正しく幅広い運動をたくましく推し進めて行きたいと考えています。これまでのように単に縦の組織関係だけでなく、横の地域的なつながりにも大いに力を入れて行くつもりです。

アンケート

闘争についての組合員は何を望むか

デフレ政策は、労働者、農民、商人など働く人々の犠牲の上に強行されている。このデフレ政策を打ち破るため、来るべき秋季闘争を目前にし再軍備につながるしたらよいか各労組員にその意見を聞いてみた——。

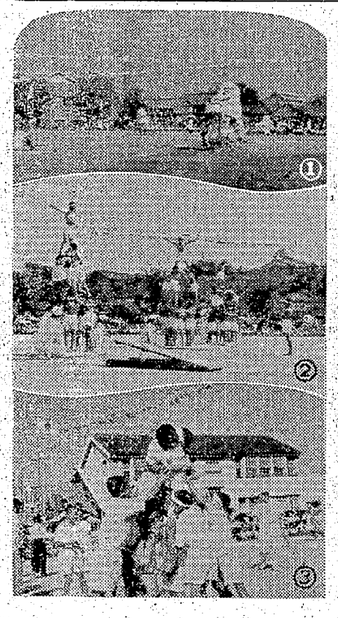
三煉　吉田生

いままで、なんべんとなく闘争をくりかえしてきたが、最近の情勢では、私達身近かなものの団結だけや、幹部の交渉技術だけではどうにもならなくなつてきた。

私達の賃上げや厚生、文化等の要求をおさえている近ISAという大きな鎖を断ちきるためには、地域の全労働者が団結　経済、政治両面の闘争を展開しなければならない。そのためには、大地評で決定された事項を各組合が忠実に履行することが必要である。

三鑛　松岡潮二

十分なる共闘体制の確立の強化をやると共に、執行部は組合員の意見を聞いて行けるという組合員の判断を誤らない事を望む。また情宣に対するような情宣活動を活発にやつて行けるという組合員の要望として大衆の支持を得られるような情宣活動を活発にやつ



樂しかつた運動會

終つたあとは胃悪吐悪

子供たちにとつて指折り数えて待ちに待つた運動会がやつて来た。日常娯楽にめぐまれない主婦や父兄は、なきなしの財布を入いて見物に出かけた。子供たちは元気一杯に走り、珍劇的競技の飛び入りで、どつと爆笑も起つた。かなしいことは、終つたあとの主婦の暗い顔と、胃悪吐悪である。

労働者も商人も同様に生活苦

第一回勞商懇談会開く

大牟田のセンイ織者と各労組の厚生部長は去る十四日、昼食をともにしながら、和やかなふんいきのうちに懇談会を開催した。

織者側十八名、労組十一名の出席で、おたがいの悩みを語るうちに「ストライキの影響で商品が売れなくなつた」という誤解が解決され、「労働者が苦しいように商人も同様苦しい」ということがわかり、お互いに協力し合つて行くべきだという結論に達した。

そして今後もこのような懇談会をもつていろ〜と話し合うことが繁栄の道であるとして、次回は月末お互いの利益を増すことであり、

新聞紙の講讀料金を八月以前に引下げよ

共同聲明書

各新聞社は（地元を除く）八月三十日付きで値上げを一方的に断行した。

値上げの主な理由は月曜刊を二ページ増す、広告代の減収である。だがこれらの理由は思換瀟洒である。紙面を充実することは望むところであるが、値上げをするようなことであれば反対である。今まで紙面の充実に努力したと云うが、一、二年の間、料金が高くなつたほど紙面はよくなつていない。

広告代が減収したと云うが、各紙とも以前と変らないほど広告をあつかつている。だから、広告をとる技術や方針の改善で、値上げをすぐにやつていけると判断する。

たとえ値上げしなければならないほどの減収であつても、読者はページが若干減少しても値上げしない方がよいと思つているのだ。しかるに読者の声を無視して一方的に行なつたことは、新聞は高くなつても聞聞すると云う新聞の強味を利用した、金儲けの悪質な手段だと考える。

聞聞の指令や、紙代の不払い運動は、この不満が爆発したものである。今や社宅などでは、二軒に一新聞の共同聞聞運動も起つている。報道を正しく絵この人に知らせる使命を想起し、料金を八月以前に引下げよ。右声明する。

昭和二十九年十月六日

大牟田地方労働組合評議会
三池炭鉱主婦協議会
大牟田市小企業労組連合会

發刊なるか

期待される『新大牟田』

中央・地方・地元などの商業新聞らの赤字のため六月に休刊した。は、やゝもすれば反動政府や保守派の宣伝道具に利用されがちである。

今まで如何なる強圧にもくつせず真実を報道する新聞として、社会タイムスがあつたが、六千万円かこういう情況が反映して、進歩的商業新聞をつくろうという声がおこり、大地評や左社、元社会タイムス大牟田支局などの関係者で準備が進められている。現在準備されている案は、新聞の名称を「新大牟田」とし、五日に一回の発刊である。紙代は月に五十円位。六日の大地評教宣部長会議で論議し次回に態度を決めることになつた

これは珍らしい

畳職人の勞働組合

大牟田地区の畳屋に雇われている職人さんが約三十名で、大地評の指導のもと九月一日労働組合を結成した。結成の動機は親方制度の圧制の下、低賃金による生活苦からぬけ出すため。結成に当つては親方から圧力がかゝつたが、大地評の抗議であらためた。同組合は労組法の適用を受け、近く大地評に加入する。

早く支給してくれ

被服手當に不満の聲

大牟田市役所では先の闘会で被服手当の支給を可決したが、現品の支給はいつになるか皆目わからぬというので組合員の中から不満の声が高まつている。

冬も近づいたので一日も早くというのが全員の切望である。当の人事課では被服の支給については現金操作が困難だから来春になるだろうと全く不誠意な態度を示している。

『人斬以藏』など

前進座三班廿七日公演

七月発足以来、九月の第二班河原崎国太郎一行の公演によつて意運に発展した大牟田前進座後援会はふたゝび第三班の狂言舞踊「身替り座禅」「関山青葉作「人斬以藏」歌舞伎劇「壷坂霊験記」をもつて十月二十七日市民会館で公演することになつた。

料金は前売券百五十円、指定席二百円である。

今回は料金も安く、出しものも面白く、とくに「人斬以藏」「壷坂霊験記」は有名であり、大牟田の勞働者、市民の感情とピツタリし楽しみながら見られるだろう。

洞爺丸犠牲者にカンパ

国鉄大牟田支部では、廿六日夜開催した国鉄の青函運絡船洞爺丸の犠牲者遺家族にカンパを送ろうと十月十日、十一日を第一期として大牟田、荒尾、羽犬塚、瀬高町の四地区一斉に一洞爺丸家族救援カンパ」を街頭に進出して行い、好成績を収めた。

【写真上】失業者顔十二（信欣三）に気ぬけして女房（酒橋豊子）が、かせいでいるが、なにしろガキが二十三人もいる。一口に貧乏なんてものじゃない。

（「億万長者」より）

【写真下】こゝは真知子と春樹で有名なスキヤ橋畔。広島の原爆で頭がおかしくなつた鶴すて（久我美子）が「かよわい女性のような平和を守るために、原爆を百個作りましよう」とセマイ家にひしめきあつて、食い物も早いが勝ち。とう〳〵食いつめて、一家原爆マグロで洗をならべて心中をとげる。

鬪かわをければならぬ

中山範鷹

吉田さんの指揮刀のもとで
ピキニの灰が踊る
アメリカの合唱に
競走相手のソ連のヤジ馬の叫び
日本国会の有志連中の熱狂の拍手
われらの国に死の灰
アメリカの飛行機の爆笑
日本の女にアメリカの兵隊
われらの道路にアメリカの自動車
喰べられない魚の海にアメリカの軍艦
われらの畑がアメリカの飛行場
日本の物を与えてアメリカを歓迎する人
これも死の灰　あゝ　これも死の灰
飯を持つては喰べられる人の増加
田園は洪水で埋まり
家屋は浸水して人まで死んだと言う
小さい事だ　アメリカがついています
だがアメリカは　お金をくれるのか
死人を生かしてくれるのか
考えねばならぬ
起たねばならぬ
闘かわねばならぬ
この小さな体から武器位吹きとばす
声を出さねばならぬ
日本の女を
われらの土地を
われらの平和を
日本の手に抱けるよう
汚された家屋を
美（き）れいな布で拭こうではないか
その時美しい拍手が
地球の隅々から送られることは
解つたことだ

（熊鉄時人より）